

明石工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	建築計画 I
科目基礎情報						
科目番号	0054		科目区分		専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年		3	
開設期	前期		週時間数		2	
教科書/教材	岡田光正他『新訂 建築計画1』鹿島出版会参考:『コンパクト建築設計資料集成』丸善					
担当教員	水島 あかね					
到達目標						
1) 建築空間が地理的環境、構造・機能、建築技術によって形作られていることを説明できる 2) 人体寸法や身の回りの寸法、単位寸法などについて説明することができる 3) 歴史的建造物の保存活用や建物の持続可能なしくみ						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		建築空間が地理的環境、構造・機能、建築技術によって形作られていることを系統立てて説明できる	建築空間が地理的環境、構造・機能、建築技術によって形作られていることを説明できる		建築空間が地理的環境、構造・機能、建築技術によって形作られていることを説明できない	
評価項目2		人体寸法や身の回りの寸法、単位寸法などについて具体的に説明することができる	人体寸法や身の回りの寸法、単位寸法などについてある程度説明することができる		人体寸法や身の回りの寸法、単位寸法などについて説明することができない	
評価項目3		歴史的建造物の保存活用や建物の持続可能なしくみについて、具体例をあげながら説明できる	歴史的建造物の保存活用や建物の持続可能なしくみについて説明できる		歴史的建造物の保存活用や建物の持続可能なしくみについて説明できない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要		気候、風土、歴史、文化など、建築がその土地が持つ様々な要素から形作られてきたことを知り、建築に対する多角的なものの見方や建物を計画する上で必要な基礎知識を身につけることを目標とする。				
授業の進め方・方法		主に授業は事前に取り組むレポートと授業中のディスカッション、スライドを用いた説明による。				
注意点		普段から身の回りの環境に関心を持ち、人の行為と空間との関係などを良く観察するようにすること。課題に取り組むときは、しっかりと情報収集して、自分の意見を入れること。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課				
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		本授業の進め方や評価方法、目標を理解し、人に説明することができる	
		2週	空間の形態（１）：地理的環境と形態		気候や風土、歴史や文化などから形作られてきた建築の特徴について説明することができる	
		3週	空間の形態（２）：構造・機能と形態		構造や機能から形作られてきた建築の特徴について説明することができる	
		4週	空間の形態（３）：建築技術と形態		技術の進化に伴い大量生産により生み出された建築の特徴について説明することができる	
		5週	寸法と規模の計画（１）：人体寸法・動作寸法		自分自身の体の寸法を把握し、その寸法を使って身近なものの寸法を測ることができる	
		6週	寸法と規模の計画（２）：身の回りの寸法		身近な空間を実測し図面化することができる	
		7週	寸法と規模の計画（３）：パーソナルスペース		パーソナルスペースについて説明することができる	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	単位空間の寸法：寸法のシステム		単位空間の寸法について説明することができる	
		10週	空間の性能（１）：利便性・快適性・安全性		建築に求められる利便性や快適性、安全性について説明することができる	
		11週	空間の性能（２）：耐久性・経済性		耐久性、経済性について説明することができる	
		12週	空間の性能（３）：持続可能性と省エネルギー		省エネルギーのための計画手法を説明することができる	
		13週	住宅の見学（１）		和館と洋館の違い、数寄屋の特徴、コロニアル様式の特徴について説明することができる	
		14週	住宅の見学（２）		和館と洋館の違い、数寄屋の特徴、コロニアル様式の特徴について説明することができる	
		15週	建物の保存と活用		保存活用されている建築を幾つか取り上げて説明することができる	
		16週	期末試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	2	
				建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	2	
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	2	
評価割合						
		試験	発表・授業態度	レポート	その他	合計
総合評価割合		60	10	30	0	100
基礎的能力		0	0	0	0	0

專門的能力	60	0	30	0	90
分野横断的能力	0	10	0	0	10